

さいと 市議会だより

第63号

平成23年2月1日発行



平成22年12月5日に宮崎市で開催された
「TPP交渉への参加阻止とみやざきの
“食と暮らし”を守る緊急集会」の様様

十二月定例会の概要

平成二十二年第十回定例会は十一月三十日に招集。十二月二十一日までの会期中で、市長提出議案二十五件、報告案件一件、議員提出議案七件、請願六件及び陳情三件について審査を行いました。その結果、市長提出議案については、二十四件を原案可決とし、一件を継続審査としました。議員提出議案については、いずれも原案可決としました。請願については、六件を採択とし、陳情については、二件を不採択、一件を継続審査としました。

一般質問では八名の議員が登壇し、市長の政治姿勢、農林業行政、教育行政、福祉行政、観光行政等に関する質問を行いました。

主な掲載内容

議案審査結果	… P 2
一般質問	… P 3 } 5
請願・陳情の審査結果	… P 5 } 6
可決された意見書	… P 6
計	報… P 6

議案審議結果

第十回定例会（十一月）で審議された議案の概要と結果
全会一致で可決
賛成多数で可決

条例関係

西都市職員の給与に関する条例等の一部改正について
（国家公務員の給与と改定の例に準じ、職員の給与と条例等の改正を行うもの）
西都市農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部改正について
（選挙区の変更など所要の整備を行うもの）

予算関係

平成二十一年度西都市一般会計予算補正（第十号）について
（職員給与の改定等に伴い総額二千七百九万千円の減額補正）
平成二十一年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正（第二号）について

- （職員給与の改定等に伴い総額三百二十六万六千円の増額補正）
平成二十一年度西都市簡易水道事業特別会計予算補正（第一号）について
（職員給与の改定等に伴い総額四十九万三千円の減額補正）
平成二十一年度西都市下水道事業特別会計予算補正（第二号）について
（職員給与の改定等に伴い総額百六十一万九千円の減額補正）
平成二十一年度西都市営住宅事業特別会計予算補正（第一号）について
（職員給与の改定等に伴い総額五百六十二万八千円の減額補正）
平成二十一年度西都市農業集落排水事業特別会計予算補正（第二号）について
（職員給与の改定等に伴い総額一万六千円の増額補正）
平成二十一年度西都市介護保険事業特別会計予算補正（第一号）について
（職員給与の改定等に伴い総額三百八十八万六千円の減額補正）
平成二十一年度西都児湯障害認定審査会特別会計予算補正（第一号）について
（職員給与の改定等に伴い総額百二十七万円の減額補正）
平成二十一年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正（第一号）について
（職員給与の改定等に伴い総額三百九十四万九千円の減額補正）
平成二十一年度西都市水道事業会計予算補正（第二号）について
（職員給与の改定等に伴い総額百五十二万七千円の増額補正）
平成二十一年度西都市一般会計予算補正（第十一号）について
（土木費、民生費など総額一億四千八百三十八万二千円の増額補正）
平成二十一年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正（第四号）について
（後期高齢者支援金等）総額千四百四十七万四千円の減額補正
平成二十一年度西都市簡易水道事業特別会計予算補正（第二号）について
（施設費に百六十八万円の増額補正）
平成二十一年度西都市老人保健特別会計予算補正（第一号）について
（繰出金に七百七十三万三千円の増額補正）
平成二十一年度西都市介護保険事業特別会計予算補正（第三号）について
（諸支出金に五十万円の増額補正）
平成二十一年度西都児湯障害認定審査会特別会計予算補正（第二号）について

その他

- （諸支出金など、総額百四十万五千円増額補正）
平成二十一年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正（第三号）について
（後期高齢者医療広域連合納付金など、総額二百六十二万三千円の増額補正）
財産の無償貸付について
（引き続き市有財産を無償貸付することについて、議会の議決を求めるもの）
・ 学校法人 日章学園
指定管理者の指定について
（西都市市民会館の管理を行うわせるものを指定するもの）
・ 特定非営利活動法人 せいゆう会
西都児湯広域市町村圏協議会の廃止について
（平成二十三年三月三十一日をもって廃止することを関係地方団体と協議することについて、議会の議決を求めるもの）
平成二十一年度新規採択団体管ため池等整備事業南方地区の計画概要について
（市営土地改良事業の施行認可を県知事に申請することについて、議会の議決を待よつとするもの）

議員提出議案

- 環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への参加に反対する意見書（案）の提出について
地域医療を守り、独立行政法人国立病院機構宮崎病院の充実を求める意見書（案）の提出について
知的障害者が安心して暮らせる入所施設の存続を求める意見書（案）の提出について
三五〇万人のウィルス性肝炎患者の救済に関する意見書（案）の提出について
免税軽油制度の存続を求める意見書（案）の提出について
米価の大暴落に歯止めをかけることを求める意見書（案）の提出について
森林・林業・木材産業施策の積極的な推進を求める意見書（案）の提出について

一般質問

十一月七日・八日・九日に八名の議員が登壇し、市長の政治姿勢をはじめ、市政全般にわたって質問を行いました。

大規模住宅団地構想と畑作振興について

思いやり 河野方州

問 人口増の一環として妻南地区、都於郡地区に宮崎市のベッドタウンとしての大規模住宅団地開発構想は、調査後どのようになっているのか伺いたい。

答 土地の価格面、宮崎市との距離、時間の優位性はあるが、教育、医療福祉、買い物などの生活環境を充実、整備する必要があるので、財政面からも民間の住宅団地開発を支援するのが効果的であると思っている。

問 結婚と三人以上出産された夫婦に奨励措置を導入する考えはないか伺いたい。

答 結婚奨励については、都会の女性との交流イベントなどを実施して、出会いの場を設けていきたい。三人以上出産された夫婦への奨励については、子育て支援サービスや医療助成・保育所の充実など

子どもを産み育てやすい環境づくりが重要と思っている。

問 TPP「環太平洋戦略的経済連携協定」に政府が参加することは、関税撤廃であり農畜産業は壊滅的な打撃を受け、関連産業への影響も計り知れない。見解を伺いたい。

答 完全な貿易自由化を目指したもので、国内食料自給率の低下、米や畜産の大幅な生産額の減少、農業や関連産業が持つ多面的機能の損失など影響が広範囲にわたり、TPP参加には反対である。

問 畑作の中で、葉たばこ生産は近年減収がつついていくが新規作物の導入と「ジェイエイフーズみやざき」との提携について伺いたい。

答 葉たばこ栽培と併せた新規作物として、春かぼちゃへの助成やニンニクを検討中であり、「ジェイエイフーズみやざき」が必要としている。ほうれん草、さといも等、所得向上に向けた施策を図っていく。

日本農業に壊滅的な打撃を与えるTPPに反対を

日本共産党 狩野保夫

問 農林水産省の「口蹄疫対策検証委員会」が十一月二

十四日にまとめた最終報告に對する見解について伺いたい。

答 改善方向、国、県等の果たすべき役割について具体的な検討事項を交え提案されており評価に値するものと考えている。

問 農水省口蹄疫「疫学調査チーム」の中間取りまとめに對する見解を伺いたい。

答 国の疫学調査の時期、調査方法等についても少し検討をすべきであったと思っている。侵入経路の解明を行わないと「水際対策」が取れないので、何らかの形で引き続き調査されるべきと思う。

問 日本農業に壊滅的な打撃を与え、国民の食の安全と安定的な食料供給を根底から破壊する「環太平洋戦略的経済連携協定」(TPP)への参加に對して態度を伺いたい。

答 TPPへの参加は反対である。

問 民主党政権の目玉政策であった、戸別所得補償制度がスタートしたが、その所得補償制度によって米価が買いたたかれていることに対して見解を伺いたい。

答 米の所得は減少の一途であり、このままでは稲作農家の経営継続が困難になりつつあるといえる。

問 宮崎県が十一月二十四日に発表した、「一ツ瀬川河川改修整備計画」(総事業費五十六億六千四百万円・整備期間二十年間)に對する見解を伺いたい。

答 未整備であった一ツ瀬川本川の整備事業が、国へ要望箇所として選定されたことは市民の要望に応えるものと高く評価している。

問 山角橋下流の土砂の撤去計画及び堆積する原因の解明は行われるのか伺いたい。

答 土砂の撤去と原因調査・研究・対策を要望したい。



山角橋下流に堆積している土砂

口蹄疫対策とグリーンツーリズムについて

新緑会 岩切一夫

問 口蹄疫復興を願い二度と発生させないためには、防

疫を市が徹底して推奨してもらいたいと思つて見解を伺いたい。

答 農家には農場衛生管理マニュアルを遵守して家畜を飼育してもらつ事が第一であるので、関係団体と連携して各農家を訪問し、消毒等の自主防疫の確認と防疫意識の啓発をしていきたい。

問 口蹄疫で殺処分された市有牛の頭数とそれに伴つ被害額について伺いたい。また、九月三十日以降の競り市で市有牛を借りた農家の戸数と頭数について伺いたい。

答 殺処分された市有牛は百十四頭で五千四百十万円である。また、市有牛を貸し付けるとは十戸で十九頭である。

問 TPPの本市にあたる損失額はいくらか伺いたい。

答 農業産出額で米が約十七億円、畜産部門が約四十八億円の合計六十五億円の損失である。

問 西都市グリーンツーリズム研究会の会員を増やすため、どのような対策をとっているのか。また、建物の改築等を行う費用として低金利での融資及び補助があるのか伺いたい。

答 会員の勧誘は市の広報紙

やインターネットなどで積極的に広報活動に取り組んでいる。老朽化した部分の改修が必要な場合があるので住宅リフォーム資金助成事業の活用をすすめていきたい。

口蹄疫対策本部の在り方と補償金等の状況について

政友会 黒木吉彦

問 今回の口蹄疫の体験を踏まえ、今後口蹄疫が発生した場合の本市口蹄疫対策本部の在り方について伺いたい。

答 国は、農林水産省の対策本部、及び実施の司令塔となる県の対策本部が必須であり、これ以外の対策本部は屋上屋を架し、判断権者の空白状態が生じないようにすることが重要である」とあるが、本市においての対策本部は、庁内各課の連携、生産者団体、建設協会等の連携を考えると絶対に必要であり、その上で県の対策本部と連携を図りながら対応していくのが最良だと思つ。役割については「口蹄疫発生初動マニュアル」を策定し明記した。

問 今後の畜産農家への防疫の対応について、どこされるのか伺いたい。

答 「宮崎県農場衛生管理マ

ニユアル」に沿つて、適正管理、防疫を行うつよつ関係機関、団体と連携し指導を行う。

問 殺処分され埋却した土地の代金と、作物補償金の支払い状況はどうなっているのか伺いたい。

答 土地代金は、宮崎県農業振興公社との契約が全て終了したので今月下旬に支払われる予定である。また、作物補償金は県において精査中であり、手続きが始まっていないので早急に支払つよう要望をしている。

問 殺処分されなかつた家畜の飼代について伺いたい。

答 県の畜産課より飼代については、十二月が来年一月までには事務処理及び支払いを行う予定であるとの回答を得ている。

問 口蹄疫の復興、再生に對し、市長の意気込みと今後の予算措置の見解を伺いたい。

答 畜産農家の自主防疫を目的とする機械や設備等の導入について一部助成を行いたい。

医師会病院の将来と地域振興について

政友会 橋口登志郎

問 家畜の福祉について

答 家畜の健康等を考慮した

畜産経営が望ましいと考える。

問 医師会病院については市民の要望をくんで頂き、新体制の病院を期待するところであるが、新体制移行の進捗状況について伺いたい。

答 二者、三者の協議を実施している。

問 自転車道整備について伺いたい。

答 県に伝え、随時補修を実施するとの事であった。

問 本市の学級崩壊・いじめについて伺いたい。

答 現在、報告は無いが発生時には全職員で対応する体制が必要不可欠と考える。

問 学力向上について伺いたい。

答 本市を含む中部教育事務所所管内の学校は県平均を上回っている。また、教員退職者の活用を推進したい。

問 武道必修化について伺いたい。

答 体育教員が講習会や研修を通して、資質向上をはかる。

問 文化ホール・歴史民俗資料館について伺いたい。

答 文化ホールは商工観光課が「働く婦人の家」と二元管理し、市民の様々な活動をサポートすることで、市民活動中心市街地の活性化につなげ

ていきたい。歴史民俗資料館は年次的に企画展を実施し、考古博物館との連携を図る。

問 地域振興と入札制度について伺いたい。

答 市内の建設業は地域経済や雇用を支え、災害時などに地域貢献度が高い。地元企業が経営維持、発展出来るような適切な措置が必要と考える。

問 第四次総合計画について伺いたい。

答 「自助・共助・公助」の精神を持つて、元気な日本のふるさと西都」を創生する。また「食」は重要なテーマと考えている。総合計画の視点は「人」「地域」「豊かさ」「環境」の四つを掲げる。



新法人への移行が進められている医師会病院

活性化対策について

新和会 吉野和博

問 口蹄疫で中止、延期になった各種イベントやスポーツ大会とその影響について伺いたい。

答 中止になった主なものは平助盆踊りを始め、福岡市で実施している「さいと物産・観光フェア」などがある。「さいと夏祭り」や、各種スポーツイベントなどは、延期になっている。また、多くの総会、懇親会等がなかつたため、飲食店等にも多大な影響を受けた。

問 これまで実施したイベントと今後の計画について伺いたい。

答 県内トップをきつての復興イベントや延期になった、「さいと夏祭り」などを実施した。また、がんばるつ西都！商品券も発行され商店街も少し活気を取り戻したところである。今後の予定として、がんばるつ西都！商品券の第二弾や地場産業市、元サッカー日本代表選手の中田英寿さん主宰の、テイクアクションによる少年サッカー教室、三月には「このはなマラソン」や「さいと花祭り」も実施される。

問 今回は口蹄疫からの復興で商品券を発行したが、今

後も発行する予定があるか伺いたい。

答 財団法人宮崎県産業支援財団による宮崎県口蹄疫復興中小企業心援ファンド事業の助成を受け、平成二十三年度にプレミアム商券発行事業を実施する計画で商工団体及び工商業者による話し合いがなされているところである。

問 情報発信について伺いたい。

答 各種情報誌、雑誌、新聞等を通じて行っている。また、昨年から今年にかけてホームページの全面リニューアルを行い、グリーンツーリズムやスポーツランドを紹介するページを新たに作成し、好評を得ているところである。

有害鳥獣対策と本市の特色について

新さいと 荒川昭英

問 猿、猪、鹿の被害防止対策について伺いたい。

答 捕獲や電気柵及びネット設置の補助事業を行っている。今年度より集落くるみで取り組むモデル集落の設定を計画しており被害防止に努める。

問 被害防止に取り組んでいただいている猟友会の方々に感謝している。空砲で威嚇

するための猟銃を所持した巡視員を常時雇用できないか伺いたい。

答 猿の追い払いについては巡視員を一名雇用し、花火や威嚇銃で行っている。猟銃を所持した巡視員については関係機関と協議していきたい。

問 農家の努力が報われる状態をつくって欲しいが、有害鳥獣対策についてその思いを伺いたい。

答 猿の捕獲謝金は一頭当たり二万円支払っているが、二十三年度から二万円にしたい。また、二十二年度から新たにわな猟免許を取得した者に対し、取得に要する費用の一部助成も考えている。



猿の追い払いに使用される空気銃

問 本市の特色として独自のイメージ色をつくり、色を象徴する考えはないか伺いたい。

答 特定の色を決めるよりも本市の色は四季折々の花の色であり、「彩りあふれるまち西都」で良いと思っている。

問 案内板や標識等は用途に応じた規格で統一し、共有して使用するよ様にできないか伺いたい。

答 イベントは各実行委員会で行っており、規格の統一は困難であると思う。その他の案内板等については、検討はしていく。

中山間地域の活性化と市有財産の処分について

新緑会 北岡四郎

問 中山間地域では、高齢化が進み、一人暮らしのお年寄りが多くなり、過疎化が一段と進んでいる。集落内の道路の草刈り等の共同作業も困難になっている。生活する上において、水の確保は絶対であり、限界集落どころではなく、消滅する集落が出てくるのは時間の問題ではないかと危惧するが時間がない。少なくとも現状を持続可能にするため、プロジェクトチームを立ち上げていただきたい。

答 今後、庁内に検討会等を立ち上げ研究していきたい。

問 市有財産のうち遊休財産について、未利用土地等で処分可能なものや交換分合等調査検討を行いながら総合的な対策を整え売却をしていただきたい。

答 関連する課の連携を図りながら対策を検討したい。

問 東米良支所を銀鏡地区に移転してはどうか。行政サービスや支所機能の効率性を考えると人口の多いところに移すべきである。J A西都の支所もあり、官と民の出先機関が同じ地域にあることにより、相乗効果が期待できると考えるが検討してはどうか。

答 東米良地域づくり協議会とも協議しながら検討したい。

問 一ツ瀬川抜本改修事業について市長は、全員協議会において、二市一町で期成同盟会を立ち上げたいとの事であったが、その目的について伺いたい。

答 事業採択、予算の確保等を円滑等に要望し、早期完成を目指す。

請願・陳情 審査結果

稚児ヶ池ペダルボートの計画的購入について

請願者 ボランティア団体 稚児ヶ池の会

審査結果 採 択 会長 市原 健次

地域医療と国立宮崎病院の充実を求める請願

請願者

全日本国立医療労働組合宮崎支部 支部長 児玉 敬子 審査結果 採 択

知的障害者が安心して暮らせる人所施設の存続を求めるための請願

請願者

川畑 紀一郎 審査結果 採 択

三五〇万人のウィルス性肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願

請願者

すべての肝炎患者の救済を求める宮崎の会

代表 小倉 悦子 審査結果 採 択

免税軽油制度の継続を求める請願

請願者

宮崎県農民組合連合会 会長 落合 幹雄

審議結果 採 択

米価の大暴落に歯止めをかけるための請願

請願者 宮崎県農民組合連合会 会長 落合 幹雄 審議結果 採 択

「最低保障年金制度の制定を求める」意見書の採択を求める陳情

陳情者 全日本年金者組合宮崎中央支部 執行委員長 伊地知 孝 審議結果 不採択

後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の提出を求める陳情

陳情者 全日本年金者組合宮崎中央支部 執行委員長 伊地知 孝 審議結果 継続審査

所得税法第五十六条の廃止を求める陳情

陳情者 西都民主商工会婦人部 日高京子他三八〇名 審議結果 不採択

可決された意見書

地域医療を守り、独立行政法人国立病院機構宮崎病院の充実を求める意見書

国立宮崎病院を一律削減の対象から除外し、縮小・廃止、民営化することなく診療機能充実を求める意見書

知的障害者が安心して暮らせる入所施設の存続を求める意見書

二十四時間の昼夜一貫型支援の入所施設を存続することや本人に必要な支援・サービスが受けられる支援制度を早急に実施すること等を求める意見書

三五〇万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書

ウイルス性肝炎患者救済に必要な法整備等を進め、患者に対する支援や薬書の根絶を図ることを求める意見書

免税軽油制度の継続を求める意見書

地域農業の振興と食料自給率を向上させるため軽油引取税の免税制度の継続を求める意見書

米価の大暴落に歯止めをかけることを求める意見書

四十万トンの買い入れを行い、米価の下落対策を直ちに講ずることを求める意見書

森林・林業・木材産業施策の積極的な推進を求める意見書

公共建築物の国産材利用のさらなる促進、担い手の育成確保対策や外国資本等による森林売買の規制や適切な管理体制を構築するための法整備等を求める意見書

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への参加に反対する意見書

政府は、先のアジア太平洋経済協力会議（APEC）において、「アジア・太平洋地域と経済的にもしつかりと結び合い、共に成長発展していく関係をつくらなければならぬ」と強調した。

経済のグローバル化が進展するなか、アジアとの連携強化はもとより世界と協調・協力を図っていくことは重要であるが、このTPPは関税撤廃の特例を認めない完全な貿易自由化を目指すものであり、仮に締結した場合、安い外国産農産物が国内に大量に流入

し、国内の農林水産業が壊滅的な打撃を受けることは明らかである。

農林水産省は、その影響について国内の農林水産業の年間生産額が約四兆五千億円減少するともに食料自給率も十三%まで低下し、農林水産業と関連産業を合わせた国内総生産（GDP）が約八兆四千億円減少すると試算している。また、本市においても農業生産額や関連産業の生産額の減少、農業のもつ水源かん養や景観など多面的機能の喪失等で甚大な損失になることは間違いない。

政府は、十年後の平成三十二年に食料自給率を五十%に向上させることを目標に掲げたが、このTPPを締結すれば、農地の荒廃を加速させ、わが国の農業は再生不可能な深刻な状況に陥り、食料自給率の向上どころから低下することは免れない。

政府は農業のもつ多面的な機能もしつかりと認識し、守るべきものは絶対を守る覚悟が必要不可欠である。

また、政府は「食と農林漁業の再生推進本部」を設置し、所得補償制度を拡充するため財源措置の検討をされようとしているが、たとえ戸別所得補償制度で農家所得が確保されても関税が撤廃されれば、一気に生産基盤の弱体化に繋がることは必至である。よって、国において、我が国の食と農を犠牲にし、飢餓にも追い込むようなTPP交渉に参加することがないよう強く要望する。

《提出先》

- 衆議院議長 殿
参議院議長 殿
内閣総理大臣 殿
外務大臣 殿
農林水産大臣 殿
経済産業大臣 殿
内閣官房長官 殿
国家戦略担当大臣 殿

訃 報

故 浜砂 松生 氏
西都市南方

【議員歴】平成十四年初当選以来、平成二十一年まで連続二期当選。この間、総務常任委員長、文教厚生常任委員長などを歴任。
平成二十一年十一月二十三日逝去（享年六十八歳）

議会報編集委員会

- 委員長 井上 司
副委員長 狩野 保夫
委員 橋口 登志郎
荒川 昭英
中武 邦美
吉野 和博
中野 勝
河野 方州
吉野 元近